



人権だより

【問合せ先】 桂川町人権センター ☎65・1187



■戦争も、人権・同和問題も自分には「関係ない」？

8月は、6日の広島原爆の日、9日長崎原爆の日、15日終戦の日と、戦争を考える機会が多い月でした。終戦から72年が経ち、戦争を知らない世代ばかりになってきました。最近のニュースで、これらの日が何の日か知らないと答えた人が増えていると聞き、びっくりしました。

そんな中、8月6日の朝8時にテレビをつけると、広島平和記念式典が始まりました。子どもたちの「平和への誓い」の言葉が強く印象に残っています。「未来の人に、戦争の体験は不要です。しかし、戦争の事実を正しく学ぶことは必要です」。

戦争体験者が少なくなった今だからこそ、戦争を二度と繰り返さないために、戦争の恐怖や戦争を許さない語り継ぎが必要です。

このことを思う時に、人権・同和問題も同じことが言えるのではないのでしょうか。

先日、久留米市の人権講演会

に行った時のことです。講師である徳島県の大湾昇氏おおわんのぼるが次のように言いました。

「戦争を繰り返さないために戦争のことを語り継ぐのに、人権・同和問題は他人事だと思っているから『言わなければなる』『語る必要はない』と考えるのではないか」。

私たちは自分のことではないと「関係ない」と思ってしまうがちです。戦争はもちろん、人権・同和問題だっていつ自分にふりかかってくるかわかりません。

10月から各行政区で開催する「人権・同和問題地域懇談会」で、差別をなくすために一緒に学習しましょう！

人権・同和問題地域懇談会の日程については、今月中旬頃にチラシを各戸配布予定です。



子育て支援センター

「ひまわりのたね」だより

【問合せ先】 子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

■プール遊びで夏を満喫

今年の3月までよく遊びに来ていた子どもたちが、夏休みになって久しぶりに顔を見せてくれました。会話やしぐさを見てみると、5カ月でこんなにも落ち着くものかと思いました。集団生活の中でいろいろな経験をして成長しているのでしょう。

水遊びは、解放感を与えると言いますが、初めて一緒になった子どもたちも、水をかけ合ったり、あつという間に仲良く遊び始めます。

日ごろは年下ばかりの中で、エネルギーを持て余していた4歳の男の子。プールで一緒になった5歳の男の子に一目惚れ？側について回って同じ遊びをして

：その表情が今までになく生き生きとしていて、思わず「お母さん、見て〜」と声をかけると、お母さんも嬉しそうにその姿を眺めていました。

夏休みが終わり、毎日にながやかだった子育て支援センター「ひまわりのたね」も今月からは少し静かになることでしょう。少しさみしい気もしますが、9月からはハイハイやよちよち歩きの子もたちが、次は私たちが僕たちの番だというように動き出すことでしょう。お母さんたちと子どもとの遊びを見守っていきたいと思います。



子育て支援センター「ひまわりのたね」

【開館】 月～金曜日 9～16時
【場所】 総合福祉センター「ひまわりの里」内
【対象】 0歳から未就学の子どもとその保護者
※利用には保護者の付き添いが必要です
【利用料】 無料



▲(写真左)夏まつりのヨーヨー釣り。たくさんの子どもたちとゲームなども楽しみました。(写真右)夏と言ったらこれでしょ！のびのび水あそび～！